



**四六判**  
**何かがおかしい日本語**  
 高島雅文 著  
 ISBN4-8013-0804-6  
 税込1430円

「やばいよ、絶対絶命だ」「ご乗車できません」…

**どこがおかしいか気づきましたか？**

「よろしかったでしょうか」「ご乗車できませんのでご注意ください」「目から火が出る」……。世の中にはそんな「何かがおかしい日本語」が溢れています。知らず知らずの間違った日本語を使っている、大人になるとなかなか指摘してもらえないもの。ですが、あとから気づいて恥ずかしい思いをしてしまった、という事態は避けたいところです。そこで本書では、大人でも間違え…



**B6カバー付判**  
**怪しい噂の真相 禁断の雑学**  
 黒い雑学研究会 編  
 ISBN4-8013-0520-5  
 税込1000円

原子力実験のできるおもちゃが売られていた？

**212の怪しい噂を解き明かす**

世の中にあふれる怪しい噂は嘘かまことか。その真相を徹底解明。「カルシウムとイラつきは無関係」「ポストンはシロップに襲われて崩壊しかけたことがある」「米軍は国民を使って秘かに感染実験を実施していた」「運動前にストレッチをすると体がほぐれすぎて逆効果」など、意外な雑学が満載の一冊。…



**四六判**  
**ウソみたいだけど本当にあった歴史雑学**  
 青山誠 著  
 ISBN4-8013-0515-1  
 税込1000円

誰かに話したくなる、驚きの歴史トリビアが満載！

**「これ、マジ!？」な逸話が202連発！**

長きにわたって積み上げられてきた人類の歴史。その中には、思わず「ホント!？」と声が出てしまう、ウソみたいな逸話がある。・ネコ嫌いのイヌ派だった夏目漱石・実は漢字が使えなかった紫式部・巨漢で体毛が濃かった楊貴妃・たった40分足らずで終わった世界最短の戦争・330年以上も続いて、死傷者ゼロの戦争などなど、古今東西の歴史トリビアを結集。日本の偉人や世界の偉…



**四六判**  
**地名から読み解く日本列島**  
 火田博文 著  
 ISBN4-8013-0508-3  
 税込1000円

この国の歴史は「地名」にある

**「放出」「悪王子」「無音」「サラダ」…**

現在の日本には、膨大な地名があふれている。そのひとつひとつに歴史があり、土地にまつわる物語がある。先人たちの、私たちの祖先の気持ちが込められている。本書は中でも特徴的な場所を取り上げ、名前の由来を尋ねながら、日本各地を旅していくものだ。「面白地名」「難読地名」とされる場所にも、日本人が口から口へつないできた伝承があり、それをもとに地名が成り立つ…



**四六判**  
**革命家100の言葉**  
 山口智司 著  
 ISBN4-8013-0462-8  
 税込1000円

人を突き動かすのは暴力ではなく、1つの強い言葉である

**明日の自分を革命せよ！**

ゲバラ、カストロ、板垣退助、坂本龍馬、天草四郎、大宅壮一、ネルソン・マンデラ、ジョン・F・ケネディ、ガンジー、キング牧師、マルコムX、ゴルバチョフ……など、革命家100の言葉を収録。「闘いはわが人生」ネルソン・マンデラ(政治家)「愛は敵を友人に変えることのできる唯一の力だ」キング牧師(活動家)「ぼくは新しい運命=目的地へと向けて出発しなければならない…



**四六判**  
**本当は怖ろしい漢字**  
 火田博文 著  
 ISBN4-8013-0422-2  
 税込1000円

身の毛もよだつ怖さを秘めた漢字の成り立ち

**血と死の臭いにまみれたルーツがあった**

漢字の「漢」とは、どうしてこのような形をしているのか。「幸」とはいったい、どんな幸せを表しているのか。「道」に「首」が入っているのはなぜか……。私たちはふだん、そんなことを考えもせず、ツールとして漢字を使っている。しかしその歴史は、ずいぶんと血生臭い。漢字の原型となる文字が生まれたのは、遠く3300年前、古代中国・殷王朝の時代だ。人類はまだ、暗闇…



**四六判**  
**みんなが誤解している雑学**  
 常識のウソ研究会 編  
 ISBN4-8013-0402-4  
 税込968円

みなさん、誤解していませんか？

**あなたの常識を覆す200の雑学**

・インド料理に「カレー」という名前の料理はない・織田信長より先に天下を統一した武将がいた・水泳のバタ足は逆効果になる・ゴリラは「バー」で胸を叩いている・漢字の書き順に必ずしも正解はない多くの人が誤解している雑学を「常識」「歴史」「文化」「人体・生物」「言葉」「スポーツ・エンタメ」の6ジャンルから200項目を紹介！日常の豆知識から、アツと驚く大…



**四六判**  
**日常会話で使いたい 数学用語事典**  
 上原博明 著  
 ISBN4-8013-0353-9  
 税込1430円

ビジネスでも使える、文系でもよくわかる133語

**便利でおもしろくて、日常会話で役に立つ**

この事典は、難解な数学用語をわかりやすく解説し、日常会話の様々なシーンで使えるように紹介していくことを目的としています。本書で皆さんにお伝えしたいこと、それは数学が「日常会話にはない便利な表現の宝庫」だということです。数学を学んでいると、日常言語では明確に表現できなかったものが、端的かつ適切に言い表せる概念・用語に満ちていることに気づかれます。数…



**B6カバー付判**  
**禁断の雑学**  
 黒い雑学研究会 編  
 ISBN4-8013-0335-5  
 税込968円

電気椅子の開発にエジソンも関与していた

**恐怖の雑学解禁**

「東京「都」は戦争をきっかけに生まれた」「水を飲みすぎると中毒で死ぬ」「イエス・キリストの墓が日本にある?」「トランプを大統領にしないため魔女が大集合した」「小麦から幻覚剤をつくることができる」「アメリカの諜報機関によるヒトラー女化計画」など、知るや怖いけど気になってしまう250の雑学を紹介。日常的な事柄から、科学、事件、歴史、地理、各地の風習まで、幅…



**B6カバー付判**  
**お寺の魅力と成り立ちがわかる  
 日本の古寺100の秘密**  
 日本の古寺研究会 編  
 ISBN4-8013-0323-2  
 税込968円

**日本人が大切にしてきた古寺のすべて**

**お寺にまつわる基礎から意外な事実まで**

お寺に五重塔があるのはなぜ？四天王寺には鳥居がある？お参りで手を合わせる理由とは？豊臣秀吉は東大寺以上の大仏をつくった？どうしてお坊さんは坊主頭にするのか？お坊さんは生活費をどうまかなう？……など、100の疑問を通じて古寺の魅力を紹介。読めばお寺巡りがさらに楽しめる。…



**B6カバー付判**  
**知っていると差がつく知的雑学  
 知識の博覧会**  
 曾根翔太 著  
 ISBN4-8013-0303-4  
 税込866円

**宇宙で出産した場合、国籍はどこになる？**

**知っているとも一目おかれる知的雑学が満載！**

・2000円札は沖縄で使われている・トモロコシの粒は必ず偶数・「トドのつまり」の「トド」は魚・エベレストの登山料は約100万円物事の多くには、知っておくとちょっと得をするような話があり、今まで見えていた『当たり前』の部分には、隠れた刺激的な情報があります。そんな、知っておくためになる博学知識を紹介。これまで目を向けてこなかった世界を垣間見ることができ…



**B6カバー付判**  
**知れば知るほど面白い  
 名字の秘密大辞典**  
 名字の秘密研究会 編  
 ISBN4-8013-0296-9  
 税込968円

**名字の秘密が明かされる！**

**北海道から沖縄まで あなたのルーツを探る**

日本人の名字の種類はじつにバラエティに富んでいて、その数は30万種もあるといわれている。面白いのは、その名字の一つひとつに由来やルーツ、伝説があることだ。ふだん何気なく使っている名字だが、本書を読めば、いかに多くの情報を含んでいるかに気付くだろう。それぞれの由来や歴史については諸説あるものの、さまざまな逸話や歴史的事実に触れながら、自分や家族の生い…



**B6カバー付判**  
**おとなのための知的雑学**  
 松本健太郎 著  
 ISBN4-8013-0256-3  
 税込866円

**教養で人生は面白くなる！**

**少し知的な雑学はいかがでしょうか？**

・引き取り手がなかった「モナ・リザ」・「ハルマゲドン」は交通の要所・化学は錬金術から生まれた・12月24日はキリストの誕生日ではない・アメリカを独立させた紅茶とは？・7月と8月は皇帝に捧げた月などなど、知っているとおもしろいおとなの雑学傑作集…



**B6カバー付判**  
**今すぐ話したくなる知的雑学  
 知識の殿堂**  
 曾根翔太 著  
 ISBN4-8013-0193-1  
 税込866円

**厳選雑学を300個収録！**

**話のネタに困ったときに役に立つ**

・カーディガンは戦争から生まれた・名前が書いてある紙なのになぜ「名刺」？・ネコに魚を与えてはいけない！？・始球式で空振りをする理由・暗いところでは本を読むと目が悪くなるのは嘘？身近なモノの起源や日常生活で役に立つ知識など、誰かに話したくなる知的雑学を厳選。会話のネタに困っている、いろいろな知識を吸収したい、純粋に「なるほど！」と思いたい人まで、多…



**B6判**  
**日本人として知っておきたい  
 日本語150の秘密**  
 沢辺有司 著  
 ISBN4-8013-0164-1  
 税込591円

**「五十音図」なのに45文字しか仮名がないのはなぜ？**

**複雑で不思議で美しい日本語の謎を解き明かす**

「ニッポン」と「ニホン」どちらが正しい？敬語の「ご確認ください」って間違い？「おいそれと」の「おい」と「それ」って？漢字が廃止されかねない危機があったなぜトランプを「切る」と言うのか？……よくよく考えてみると、日本語は複雑で不思議な言語である。日本語の「なぜ」はつきない。なぜ「五十音図」が生まれたのか、なぜこれほど多彩な方言があるのか、なぜ…



**新書判**  
**女子校あるある**  
 女子校あるある研究会 編 ろくでなし子 絵  
 ISBN4-88392-915-3  
 税込968円

**秘密の花園は、オヤジの花園でした…**

**女子だけのお気楽すぎるスクールライフ**

◆更衣室は存在しない。◆変質者が出現すると校内放送。◆体育の授業後はのんびり着替えて次の授業開始を遅らせる。◆ジャニオタ、アニオタ、パンギャ、ツカタク……各種オタクが共存している。◆教室で鼻をかむのは当たり前。◆バレンタインはチョコの大交換会。◆体育祭はガチで燃える。◆修学旅行の夜は妄想恋話大会。◆持ち込み禁止の携帯電話が鳴ると異常な団結力を…